

コース名		科目名			対象学年			
臨床医学		臨床実習Ⅲ			3			
開講学期		科目責任者		副責任者		全体資料		
3 学期		楠 裕明		桑原 篤憲, 庵谷 千恵子		無		
授業到達目標								
1. 医療面接の役割について述べるができる。 2. 医療面接の進め方について述べるができる。 3. 患者に共感的態度で接することができる。 4. 患者と良好なコミュニケーションを取ることができる。 5. 身体診察に必要な態度を理解し、適切なマナーで身体診察を行うことができる。 6. 基本的な診察機器の取り扱いや使用方法を理解する。 7. 身体診察の手順や方法、その臨床的意義を理解し、適切な診療手技が実行できる。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1~6	1/20	月	1~6	実習	楠・桑原 岸・庵谷 山下	総合臨床	医療面接および身体診察、手技に関する共通の学習項目/医療面接（医療面接講義、模擬患者とのシミュレーション実習）/全身状態とバイタルサイン/身体診察（頭頸部、胸部、腹部、神経）/基本的臨床手技	A-3, A-4 F-3
7~12	1/21	火	1~6	実習	楠・桑原 岸・庵谷 山下	総合臨床	医療面接および身体診察、手技に関する共通の学習項目/医療面接（医療面接講義、模擬患者とのシミュレーション実習）/全身状態とバイタルサイン/身体診察（頭頸部、胸部、腹部、神経）/基本的臨床手技	A-3, A-4 F-3
13~18	1/22	水	1~6	実習	楠・桑原 岸・庵谷 山下	総合臨床	医療面接および身体診察、手技に関する共通の学習項目/医療面接（医療面接講義、模擬患者とのシミュレーション実習）/全身状態とバイタルサイン/身体診察（頭頸部、胸部、腹部、神経）/基本的臨床手技	A-3, A-4 F-3
19~24	1/23	木	1~6	実習	楠・桑原 岸・庵谷 山下	総合臨床	医療面接および身体診察、手技に関する共通の学習項目/医療面接（医療面接講義、模擬患者とのシミュレーション実習）/全身状態とバイタルサイン/身体診察（頭頸部、胸部、腹部、神経）/基本的臨床手技	A-3, A-4 F-3
評価方法								
[レポート]25% [小テスト]25% [出席状況（受講態度）]50% [評価方法]小テスト、出席・受講態度評価、論文・レポート、実習態度評価 [備考]実習前の説明も含めて臨床実習Ⅲであり、全ての実習（授業+実習）に必ず出席して下さい。 傷病などによる欠席者は診断書（3親等以上の医師による）を提出して下さい。 なお、欠席者に対しては、追加実習+実習レポート、または試験を行う予定です。 成績評価は実習態度（出席点+実習態度評価）とレポート、小テストで総合的に評価します。								
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて								
レポート提出や小テストを実施しますが、実習終了時に試験はありません。 レポートのフィードバックはありません。 欠席者には追加実習+実習レポート、または試験を行う予定です。								
教科書								
ISBN-9784896322125, 診察と手技がみえる vol.1 第2版, 古谷伸之編集, Medic Media, 2007 ISBN-4896321324, 診察と手技がみえる vol.2, 田辺政裕編, Medic Media, 2005 川崎医科大学 Essential Medical Skill マニュアル, EMCET (Essential Medical Competency Education Team), 川崎医科大学 ISBN-978-4-7878-2321-2, OSCE/Post-CC OSCEに役立つ医学生のための基本的臨床手技, 監修: 車谷典男、古家 仁、編集: 山田高嗣、友田恒一, 診断と治療社, 2018								
参考書								
ISBN-4895923258C3047, メディカルインタビュー, STEVEN A. COLE, JULIAN BIRD, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2003/01/20 ISBN-9784884122782, OSCEの理論と実際, 大滝純司 編集, 篠原出版新社, 2007/07/31								

準備学習（予習・復習等）

<実習全体について>

医療面接の流れ、基本的身体診察について教科書で予習してください。
身体診察の基本では必ず教科書を持参してください。
自分で所有している聴診器などは、取り扱いや使用方法を確認しておいてください。
実習終了後は必ず復習をし、医療面接・身体診察について学んだことを確かなものにして下さい。
いずれも医師は一生をかけて研鑽するべきものであり、学生同士で何度も復習してください。

<医療面接について>

他の学生が医療面接中、その態度や技能を注意深く観察してください。
患者に対する最低限のマナーや態度などの基本的事項を理解して下さい。

<身体診察について>

診察や基本的臨床手技の実習では、常に自らや被検者の安全を確認して下さい。

講義についての注意事項

学年を2つの班に分けて、医療面接と身体診察の実習を並行して行います。
班分けについては実習開始前にお知らせします。
臨床実習Ⅲは全出席が原則です。
傷病などによる欠席者は診断書（3親等以上の医師による）を提出して下さい。
なお、欠席者に対しては追加実習+実習レポート、または試験を行う予定です。
診察や基本的臨床手技の実習では、自らや被検者の安全を常に確認して下さい。
危険な行為や行動があれば実習を一時中止することがあります。

昨年度からの変更点・改善項目

いくつかの到達目標を達成できたかどうかを、レポートや小テストで確認します。
欠席者に対しては追加実習+実習レポート、または試験を行う予定です。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

臨床実習Ⅲは本学のコンピテンスのうち、「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「医学と関連領域の知識」「医療の実践」とに関連する重要な知識や技能です。最終的にはそれらを十分に身に付けているかどうか総合的に評価する PCC-OSCE が6年時に予定され、それに合格することが卒業試験の受験資格として求められます。
臨床実習Ⅲは臨床実習を開始するために必要な基本的技能や態度を身につけるための最初の実習です。これらの基本的知識や技能・態度は今後も臨床実習入門などで繰り返しトレーニングし、OSCE、PCC-OSCE で十分に身に付けているかどうかチェックされますが、その内容は医師が一生をかけて研鑽を積むべきものです。よって、臨床実習Ⅲは「医師（良医）」に必要な条件を修得する最初の機会となるはずで

ナンバリング

DCCC318